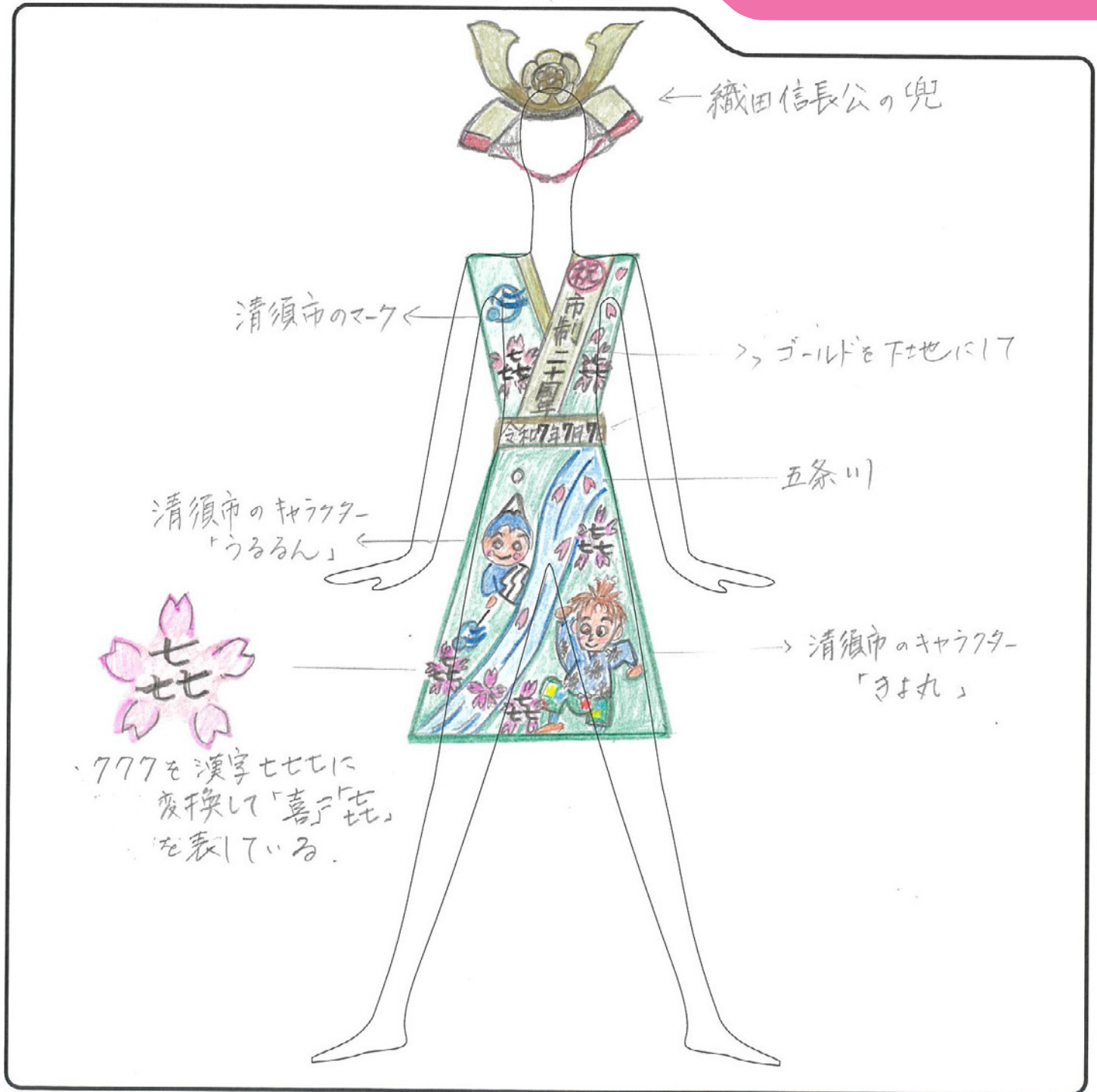




清須市といえば『歴史』

清須市といえば、織田信長の時代から清洲城と共に紡いできた歴史。武士が街を歩き様々なファッションへと広がる今へと繋ぐ、着物×洋服で紡がれてきた歴史を表現しました。服の柄には清須市の水、鳥山明先生のドラゴンボールより龍、市の花である桜をあしらい、清須市に関連する色でまとめました。ネックレスは織田家家紋をモチーフにしました。

Design Concept

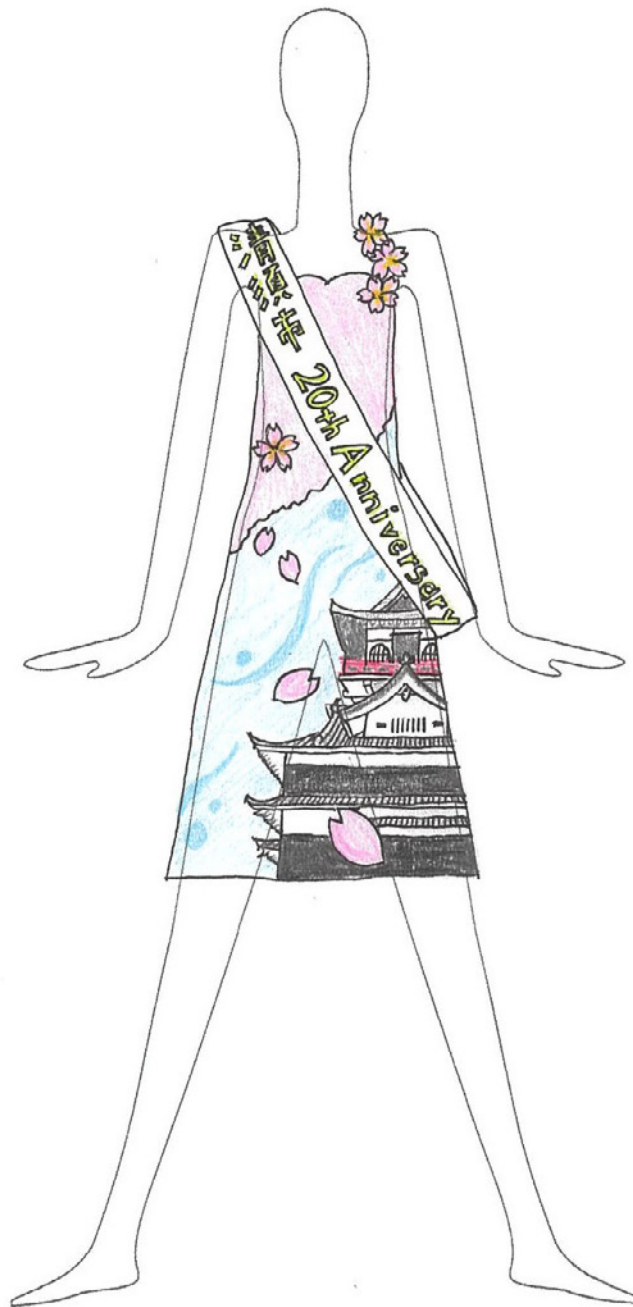


清須市といえば『**歴史流れる五条川**』

織田信長公の兜をかぶり、市制20周年の祝いのタスキをかけるナナちゃん。

五条川に桜が舞い散る。

「777」と「七七七」をかけて「喜」を表している。



清須市といえば『桜・川・清洲城』

私が思う清須市のアピールポイントをバランス良く描きました。

20周年をわかりやすくアピールするため、タスキをかけました。



清須市といえば

『清須市イメージキャラクター「うるるん」と「きよ丸」』

「うるるん」をイメージしたワンピースに「きよ丸」を描きました。



清須市といえば『清洲城』

清洲城ハットと、カッコカワイイ白と黒の浴衣風ドレスに、

清須市の素敵なおところを愛情たっぷりに詰め込みました。

清須市ならではの祭・食・川など、きよすなナナちゃんを通して、

是非たくさんの方に知ってもらいたいです。



清須市といえば『美しい三本川』

3本の川（庄内川・新川・五条川）をイメージしたブルーのドレスをイメージしました。記念日が七夕なので、ナナちゃんを織姫にし、ドレスのトップ部分は天の川、裾の部分は三本川にしました。五条川の桜並木から舞い降りる桜の花びらをドレスの裾部分に散りばめ、花びらが浮かぶ川を表現しました。

市民一人ひとりの願いが叶いますように。

Design Concept



清須市といえば『川、水、歴史』

川と水のイメージから水色を多めに使用し、

市の花であるチューリップと桜を取り入れました。

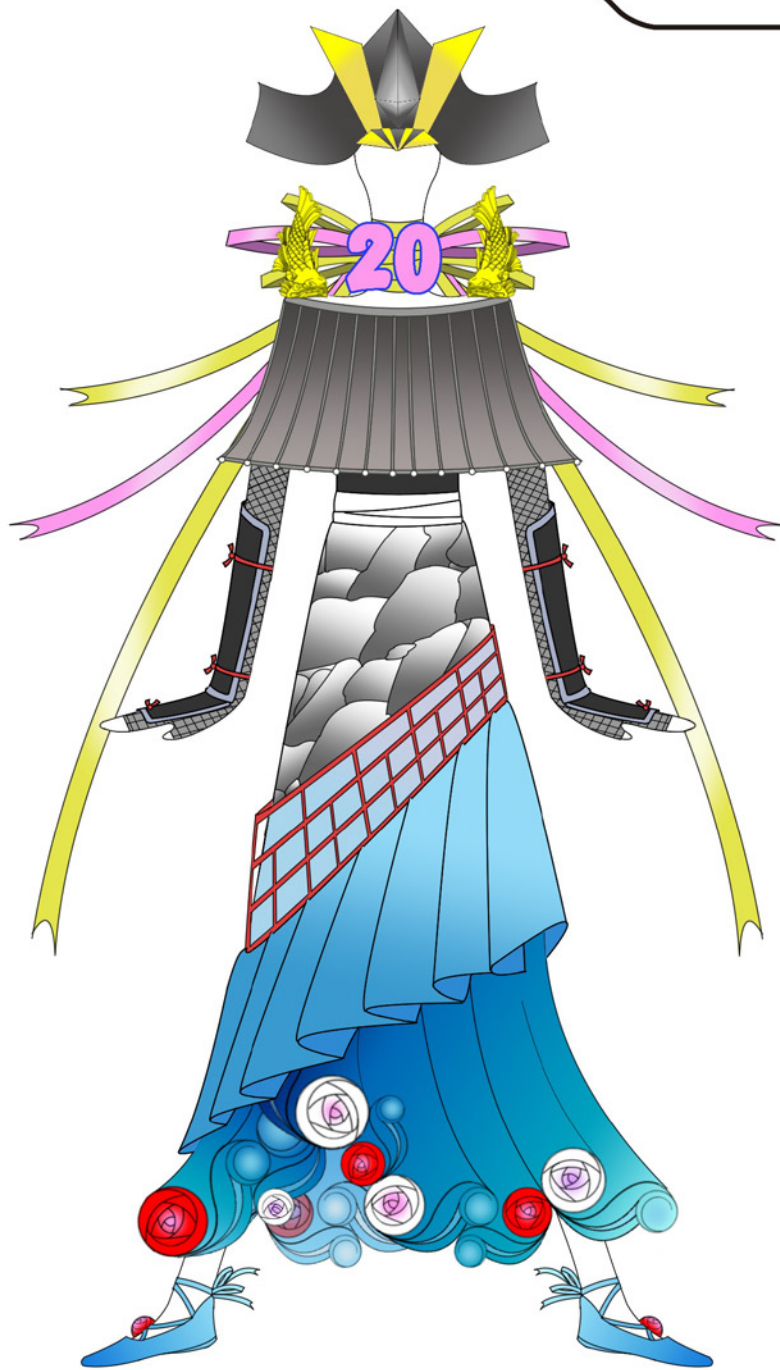
歴史のイメージから着物とし、「きよ丸」と「うるるん」をモデルにしました。



清須市といえば『和でしょ』

和のイメージから浴衣をデザインしました。

織田家の家紋や五条川などを浴衣の柄に詰め込みました。



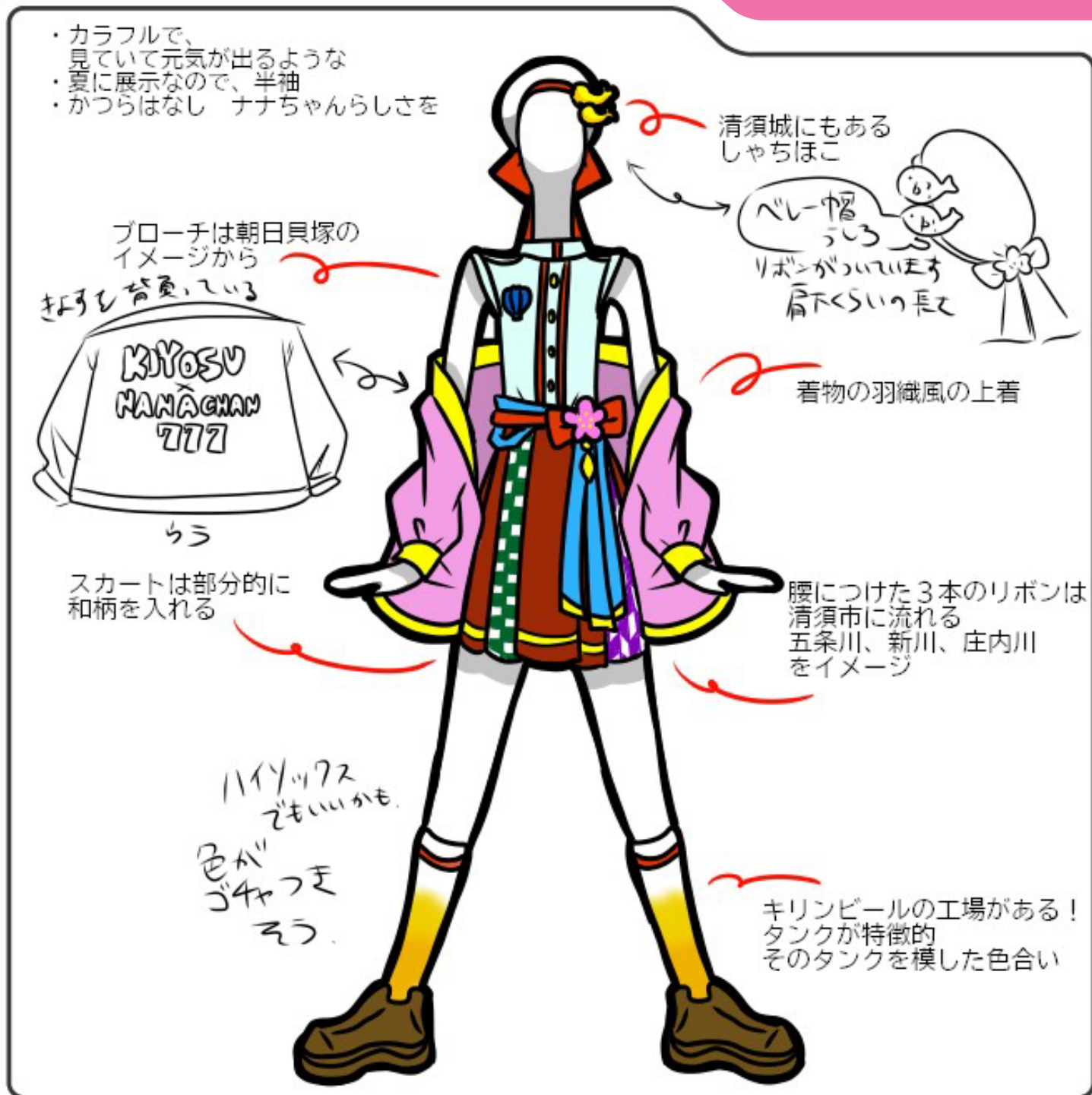
清須市といえば『清洲城』

清洲城、そして、真っ赤な大手橋と美しい五条川をイメージしました。

また、清須市市制20周年の「20」の文字のアクセサリと、

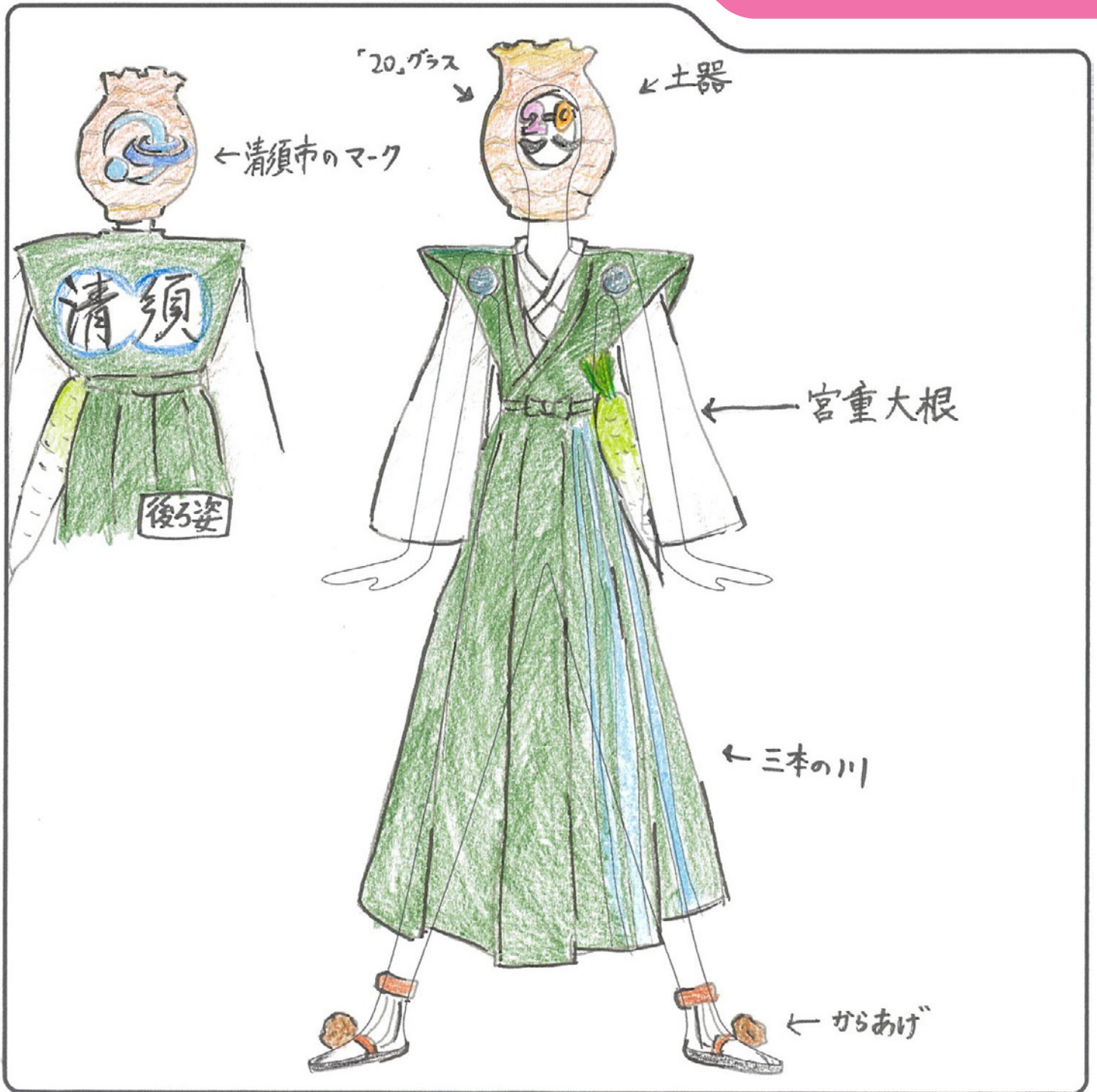
きよすイルミのイメージカラーのピンクと黄色のリボンでお祝いました。

Design Concept



清須市といえば『伝統の生きるまち』

清須市は、清洲城や織田信長などの昔の伝統と、イルミネーションや今は亡き鳥山明先生など、現代の新しい文化の融合を感じられるまちだと思います。衣装は全体的に現代風ですが、ところどころに清須市の特徴や伝統を感じる和柄を取り入れました。ナナちゃんの特徴的なすらりとした手足が見えるようにしたデザインもポイントです。



清須市といえば『**土器と信長**』

清須市の魅力を詰め込みました。

信長をベースに弥生時代の土器や特産品の宮重大根、

新たなご当地グルメ「清須からあげまぶし」のからあげを組み込んで、

歴史ある町を表現しています。



清須市といえば『春夏秋冬魅力的』

肩衣の桜で「春」、帯のアルコプールのスライダー、
吊り下げた提灯で西枇杷島まつりを連想させ「夏」、
裾には清洲公園の紅葉とどんぐりで「秋」と、
きよすイルミのプロジェクションマッピングで「冬」を表現しました。
袖は「きよ丸」と「うるるん」をモチーフとしました。

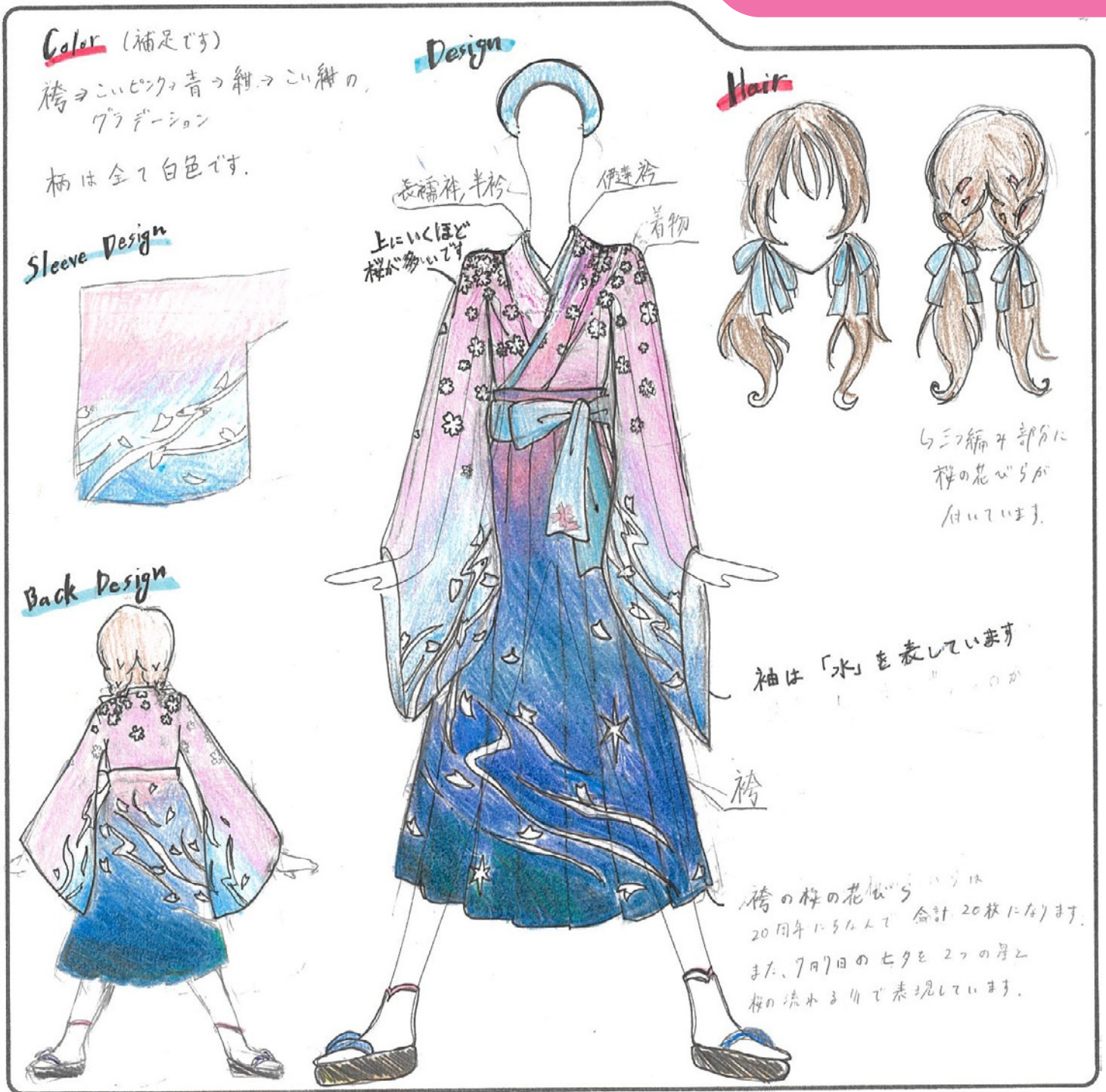
Design Concept



清須市といえば『清洲城』

新川と庄内川の色でブルーを基本とし、

鳥山明先生の図柄と清須市のマークを取り入れ、女若侍にしました。



清須市といえば『和』

清洲城や朝日遺跡などがある清須市には「和」がぴったりだと思います。

「和」を連想させる袴に清須市のイメージカラーの青色を多く使い、
また、市の花である「桜」をモチーフにしています。



清須市といえば『**3つの川**』

右腕には美しい桜が連なる五条川、

胴の部分には橋が架かる日本一長い人工川の新川、

左腕には花火が水面にゆらぐ庄内川をイメージしてデザインしました。

五条川と新川は合流するので、肩を隠さず、つなげることで再現してみました。

Design Concept